岡山大学 工学部

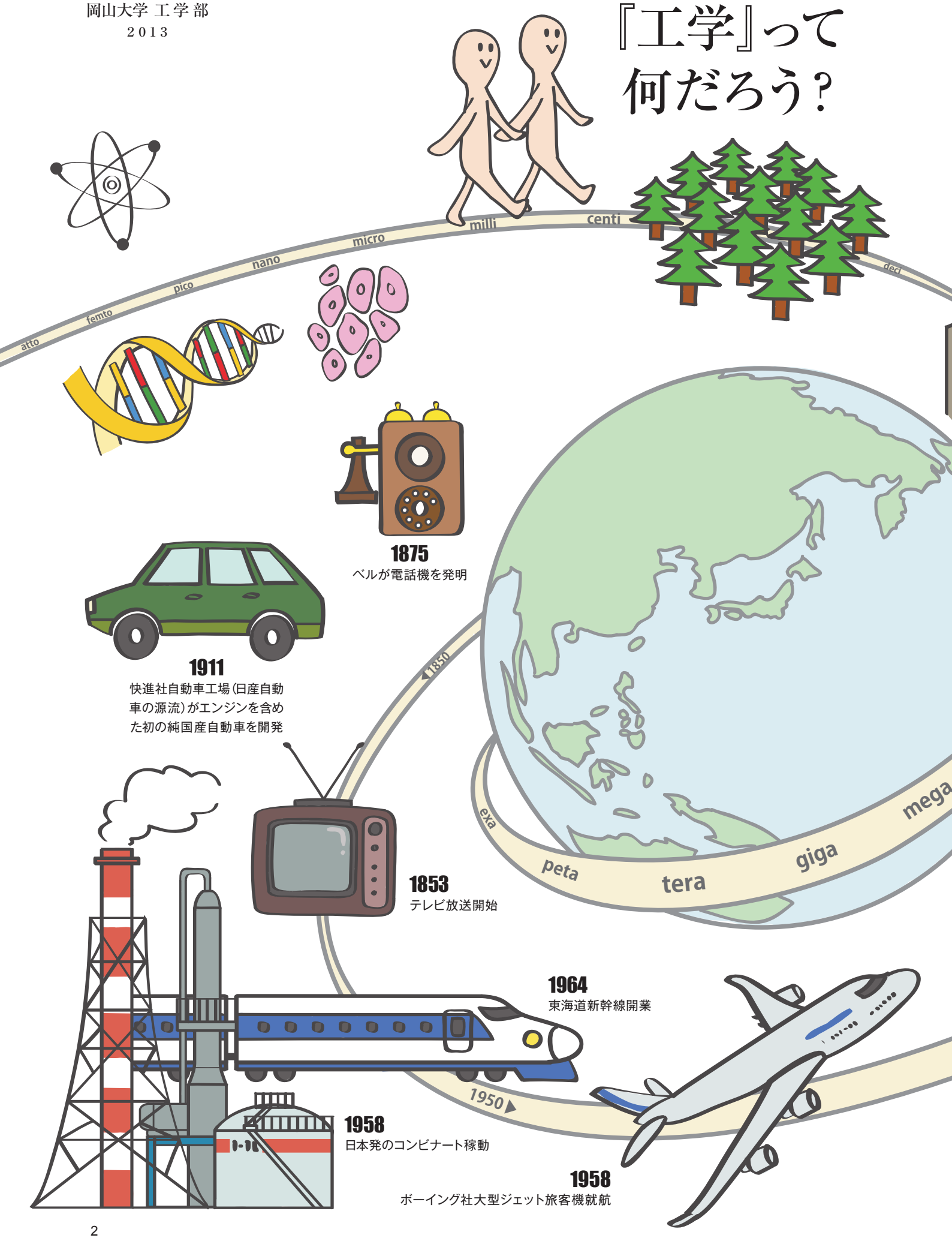
“小さな工夫”が世界を変える。

2013

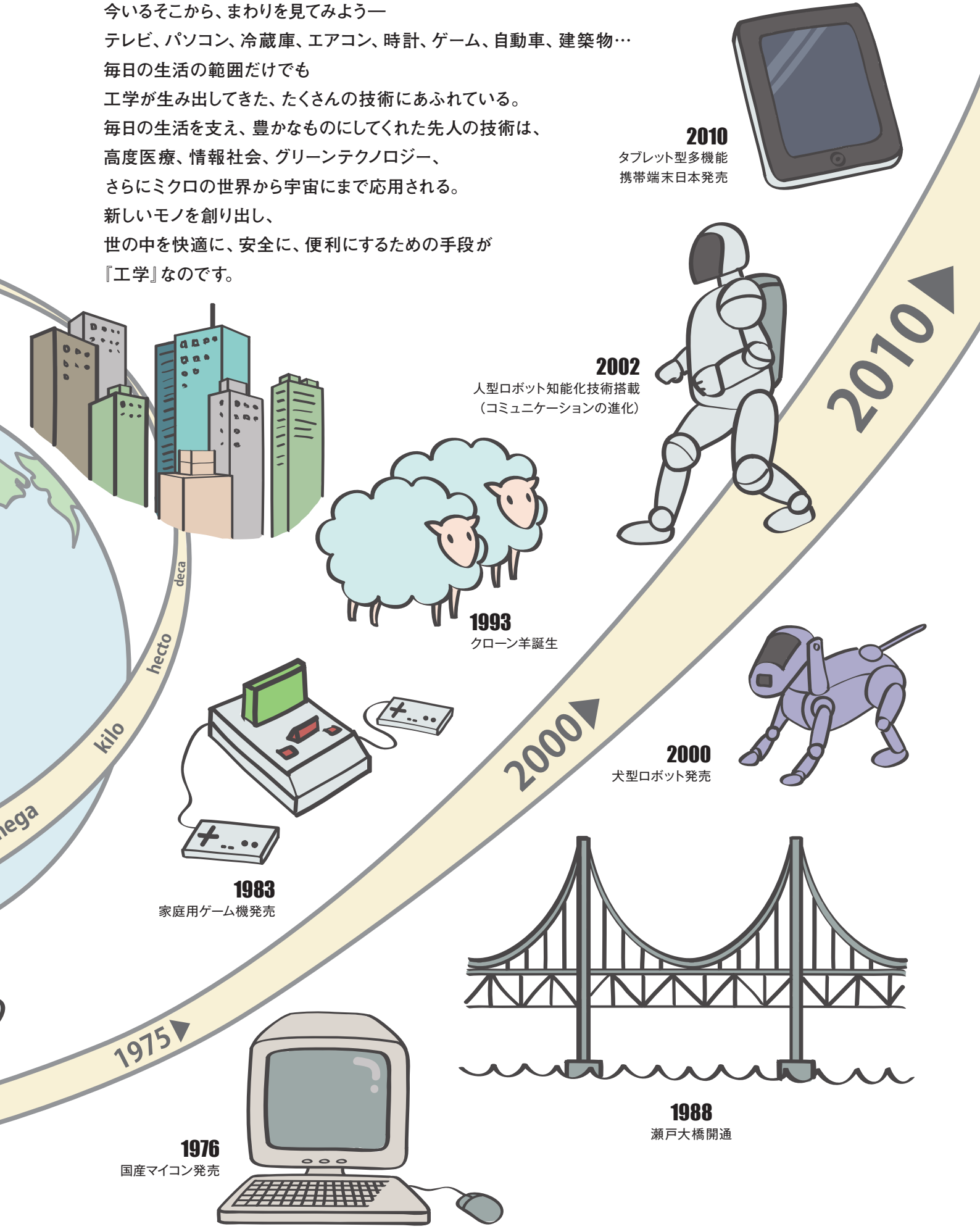
A small idea can change the world.

“小さな工夫”が世界を変える
岡山大学 工学部
2013

『工学』って何だろう？



今いるそこから、まわりを見てみよう―
テレビ、パソコン、冷蔵庫、エアコン、時計、ゲーム、自動車、建築物…
毎日の生活の範囲だけでも
工学が生み出してきた、たくさんの技術にあふれている。
毎日の生活を支え、豊かなものにしてくれた先人の技術は、
高度医療、情報社会、グリーンテクノロジー、
さらにミクロの世界から宇宙にまで応用される。
新しいモノを創り出し、
世の中を快適に、安全に、便利にするための手段が
『工学』なのです。



生き物みたいな機械
自分で作れないかな

誰も見たことのない
スマホを作りたい

医学の針を進める
力となりたい

より軽く丈夫な
素材を作りたい

安心安全エコな
社会を実現したい

“小さな工夫”が

新しいモノを生み出す
果てしなく繰り返すトライ＆エラー
けれども、その中の一瞬の偶然や新しい
見たことのない世界を作る“小さな工夫”

岡山大学

宇宙ステーション
と通信したい

未来へつなぐ
45億年のアート

豊かな未来を
デザインする

地球と人にやさしい
素材を創りたい

生活をより豊かにする
革新的な技術を創造したい

人工知能搭載ロボット
を実現したい

環境にやさしい
エンジンを作りたい

世界を変える

人とコンピュータの
未来をつくりたい

「工夫」に正解はなく、
は地道な作業かもしれません。
発見が、世界を変え未来を紡いでゆく。
を、私たちと一緒に探してみませんか？

工学部

美と健康を化学の力で
サポートしたい

想いの伝え方を
進化させる

人の知的能力を
拡大したい

“小さな工夫”が世界を変える

A small idea can change the world.

岡山大学工学部は、機械システム系学科、電気通信系学科、情報系学科、および化学生命系学科の４学科構成で、建築と土木の分野を除く工学系の各分野について、教育と研究を進めています。

本学部で教育する内容は、水や電気といったライフラインに深く関係し、さらに鉄道、自動車、飛行機、電話（携帯電話）、インターネットといった社会インフラにも深く関係する知識や技術に関するものであり、これらを身につけ社会に貢献する人材の育成を進めています。さらに、ナノテクノロジー、バイオテクノロジー、グリーンテクノロジーといった社会への適用域拡大が期待される分野についても教育と研究を進めています。

工学の基本は、工夫です。小さな工夫の積み重ねが、発明や発見を生み、その結果として世界を大きく変えることになります。社会への影響が非常に大きい工学の分野は、その成果が社会に役立ち直接的な貢献になります。もちろん、工夫するには対象分野の知識だけではなく様々な知識が必要です。このため、本学部では、基本的な知識取得だけではなく、工夫する力（工夫力）を育てます。

もちろん、社会が求める最先端の知識や技術を習得させる教育には、先端的な研究活動が必要です。本学部では最先端の研究を進めており、高い評価を得ています。また、学部を卒業した多くの学生が大学院に進学しています。

この冊子では、教育や研究の内容を紹介しています。皆さんの興味や適性を生かせる分野を見つけ、各自の夢の実現に向けて本学部に入学し、自らを成長させてください。そして卒業後、社会に貢献されることを期待します。皆さんの入学をお待ちしています。

工学部長　谷口　秀夫

学科構成

4学科		9コース
機械システム系学科	160名	機械工学コース システム工学コース
電気通信系学科	100名	電気電子工学コース 通信ネットワークコース
情報系学科	60名	計算機工学コース 知能ソフトウェアコース
化学生命系学科	140名	材料・プロセスコース 合成化学コース 生命工学コース

Contents

『工学』ってなんだろう？……❷
“小さな工夫”が世界を変える……❹
学部長のことば……❻
入学から卒業まで……❽
　進路構成
　柔軟性のある専門分野の選択
教育への取り組み……❿
　教育理念
　教育課程
　インターンシップ
　アドバイザー制度・学習等達成度記録簿
学生の取り組み……⓮
　フォーミュラプロジェクト
　ロボット研究会
コレが岡山大学工学部のスゴイ技術！……⓯
　テラヘルツ光で照らす未来の世界
　岡山の伝統工芸品
　「吹屋ベンガラ」の再現を目指して
学科案内
　機械システム系学科……⓰
　電気通信系学科……㉘
　情報系学科……㊵
　化学生命系学科……㊷
進学・就職状況……㊹
入試情報……㊺
キャンパスマップ……㊻
オープンキャンパス

“小さな工夫”が世界を変える
岡山大学 工学部
2013

入学から卒業まで

進路構成

通常のコース配属

通常、学生は入学時に工学部の各学科に所属し、２年次後期から専門性を高めた教育を受けるために、学生の希望に基づいてコースに配属される『**コース選択型**』になります。

入学から卒業までの進路構成は図のようになります。

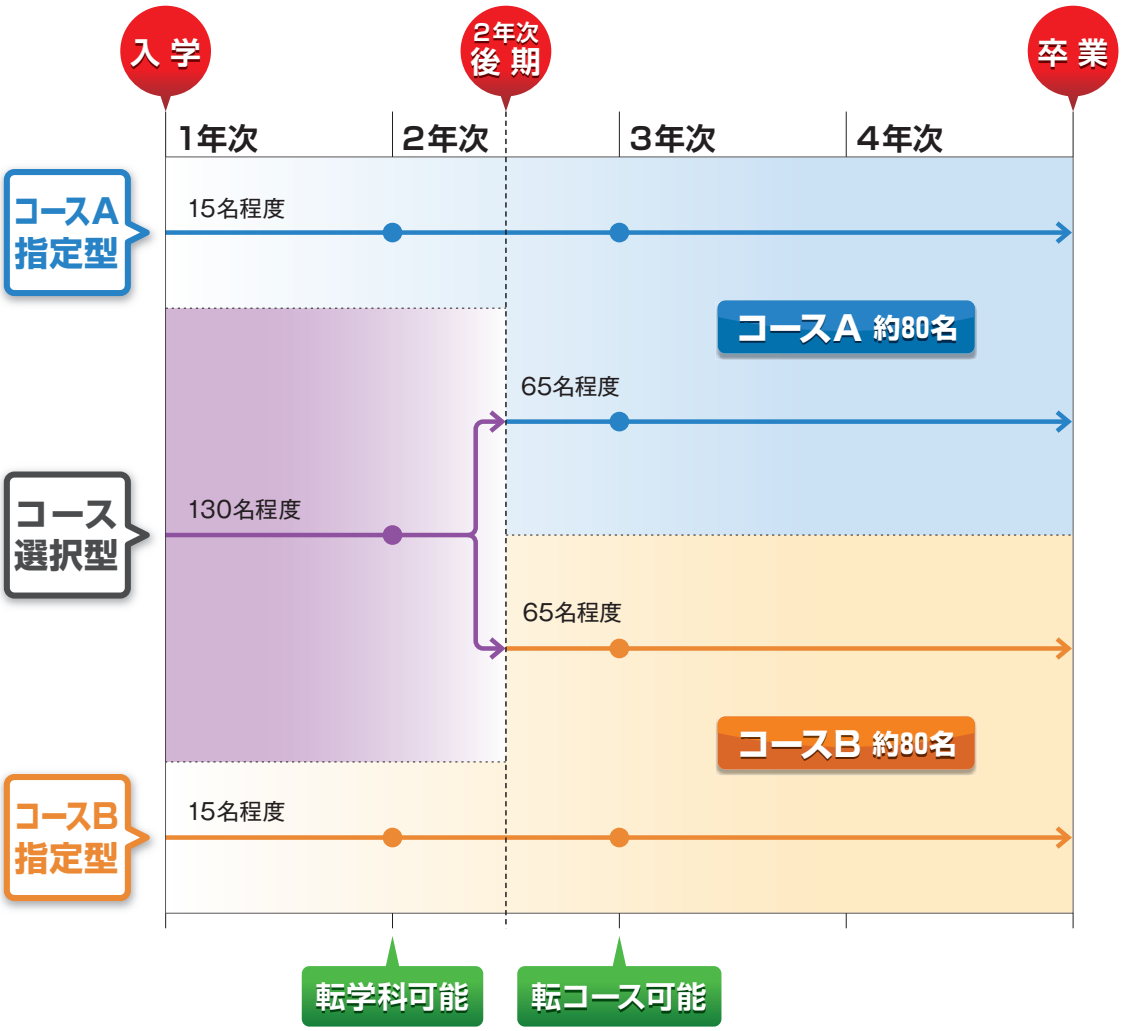
柔軟性のある専門分野の選択

専門分野への志望が明確な入学者への対応

志望する専門分野を明確に決めている成績優秀な入学者に対しては、その意欲が維持できるように、入学当初よりコースを選ぶことができます。すなわち、前期日程及び後期日程入試で合格した各学科の入学者のうち、入試成績上位15～20％程度については、入学時にコースを決める『**コース指定型**』か、通常のコース配属である『**コース選択型**』の**いずれかを選ぶ**ことができます。

転学科・転コースの弾力化

入学後またはコース配属後、教育を受けてみてその教育内容が期待と異なっていたことなどにより、**転学科**（２年次進級時）または**転コース**（３年次進級時）を希望する場合には、これを容易にします。



例えば、○○学科（入学定員160名、コースはＡとＢの場合）における学生配属

教育への取り組み

教育理念

人間、社会、環境等の何れにも配慮し、人類の存続と繁栄に必要な科学技術の発展のために、基礎研究と応用研究に邁進し、先端的研究を志向し、その成果を基に国内外及び地域に貢献するために、学部・修士・博士課程の特長ある教育システムにより高度専門技術者、若手研究者の育成を行います。

岡山大学工学部は、機械システム系学科、電気通信系学科、情報系学科および化学生命系学科の４学科構成により、自主的な行動力、総合的な判断力、国際性、倫理観を有する「課題探求型人材」育成のために４年一貫教育を次の理念で行います。

また、各学科内には、コースが設定されており、より専門的な人材の育成を図ります。

「課題探求型人材」育成のための教育理念

専門分野の基礎的知識の修得と活用能力、自主的な学習能力、探求能力の育成

専門分野の基礎的・基本的知識を修得して活用できるようにし、
自主的持続的に学び、探求し、まとめる能力を育成します。

幅広い視野と柔軟で総合的な判断能力の育成

自主性・探求能力の向上に伴い、さらに広い問題に対して、
問題点の整理、関連技術、
今後の解決策、環境・社会的影響等
について総合的に判断する能力を育成します。
特に、学部教育においては、基礎理念、基礎・応用設計、
製作、評価の一貫的な能力を育成します。

豊かな人間性の育成

教養教育、専門教育による学生の文化的・学問的・
技術的資質の向上、及び大学生活での交友と、
課外活動、社会活動への参加による
一般資質の向上により、豊かな人間性を育成します。

倫理観、社会貢献する態度の育成

技術者、研究者、社会人としての倫理観、
社会貢献についての視点を明確にできる
能力を育成します。
特に社会貢献については、
自主的に活動に参加する積極性を育成します。

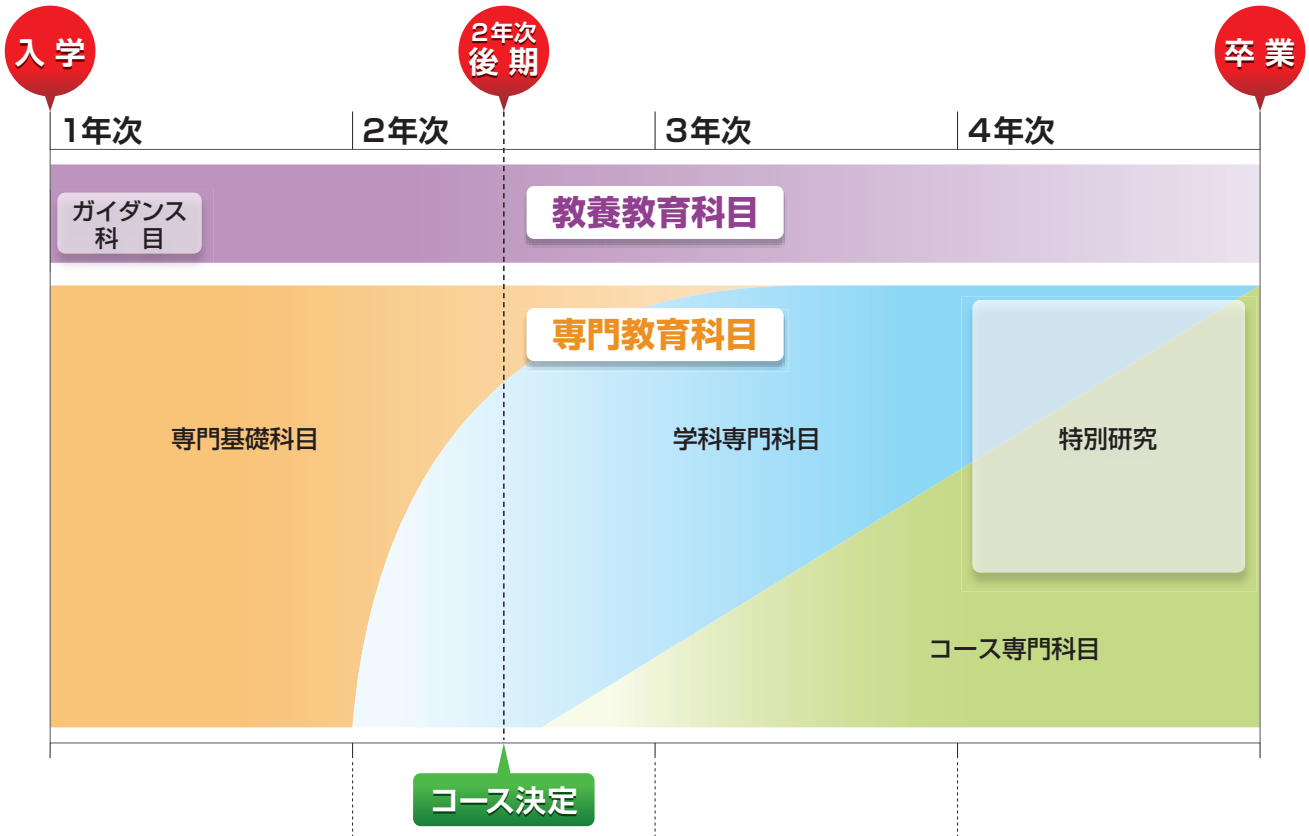
日本語と外国語の充分なコミュニケーション能力、及び情報活用能力の育成

国際的な高度専門職業人として
必須である語学及び
情報処理の基本・応用能力を育成します。

教育課程

岡山大学工学部では、課題を自ら探求し、その課題を解決するために、考え、工夫することができる人材を育成することを目標に掲げ、教育改革に取り組んでいます。

入学したすべての学生が工学の基礎を十分に修得し、技術者・研究者に必要な基礎的なスキルと、幅広い工学・技術の基本的知識を身につけた後に、十分な専門知識を修得できるように教育システムを構築しました。また、講義だけではなく、物に触れ、体験して学習する演習・実験科目にも重きをおいています。



1年次には、教養教育科目（ガイダンス科目含む）と全学科に共通の「専門基礎科目」を履修します。

1年次のガイダンス科目及び専門基礎科目は、学科混在のクラス編成となっており、他学科の学生との交流のきっかけとなります。

2年次には、教養教育科目と、コース振り分け前の前期に各学科共通の「学科専門科目」を、後期には学科専門科目と、「コース専門科目」の基礎的な科目を履修します。

3年次には、コース専門科目の履修により専門能力を高めます。

その際、他の学科・コースの学科専門科目・コース専門科目をも受講できるようにします。

4年次には、コース専門科目の履修により専門能力を一層高めると共に、特別研究を行って課題発見・探求能力、自主的学習力・デザイン力・プレゼンテーション力などを総合的に身につけます。

ガイダンス科目・専門基礎科目

社会人として必要な基礎的な素養・能力
日本語と英語のプレゼンテーション力、基本的な情報処理能力、工学倫理、工学安全教育

自然科学の基礎知識
物理学基礎、化学基礎、生物学基礎、微分積分、線形代数、確率統計、微分方程式

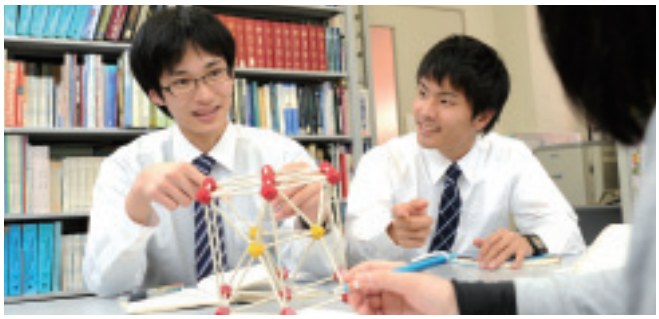
幅広い工学の基本的知識
工学部の９つのコース専門分野の重要基本技術についての概論、プログラミング、４つの学科ごとの基礎実験実習

1年次の時間割（一例）

前　期	月	火	水	木	金
1	痛みの科学	電気通信系概論［前期前半］ 情報系概論［前期後半］	教養生物学	機械システム系概論［前期前半］ 科学生命系概論［前期後半］	
2	ドイツ語初級Ⅰ（総合）	英　語（工学部）	微分積分	生命科学入門	地球惑星科学入門
3	線形代数			ドイツ語初級Ⅰ（総合）	教養物理学Ⅰ（力学）
4		工学基礎実験実習［前期前半］		工学基礎実験実習［前期前半］	情報処理入門（情報機器の操作を含む）
5		工学基礎実験実習［前期前半］		工学基礎実験実習［前期前半］	

後　期	月	火	水	木	金
1	音楽と社会		現代化学2	生物学基礎	確率統計
2	ドイツ語初級Ⅱ（総合）			バイオテクノロジー入門	現代化学1
3	英　語（ネイティブ）	物理学基礎1（力学）	スポーツ実習	ドイツ語初級Ⅱ（総合）	生物と機械
4		化学基礎			工学安全教育
5					

教養教育科目〈必修〉　教養教育科目〈選択〉　専門教育科目〈必修〉　専門教育科目〈選択〉



インターンシップ

インターンシップとは？

学生が在学中に自分の専攻に関連する企業や官公庁等で就業体験を行う教育プログラムのことです。

そのメリットとは？

就業体験を行うことにより、大学で学ぶことへの意義を再認識したり、学習意欲が向上するなど大学教育を見直す良い機会となっています。さらに、将来のキャリアプラン（大学卒業後の職業を含んだ一人一人の生き方）を考えるうえでも、とても貴重な体験となっています。

実施状況は？

本学部のインターンシップは、社団法人岡山経済同友会との間にインターンシップ実施に関する協定を結び、平成11年度から全国に先駆けスタートしました。

現在は、岡山経済同友会の他に岡山県経営者協会や多くの企業の協力を得て、学部３年の夏季休業期間中に多くの学生が約２週間のインターンシップを体験しています。平成23年度においても、県内外の60ヶ所の企業等において、76名が参加しています。本学部では一人でも多くの学生がインターンシップを体験できるよう支援しています。

主なインターンシップ受入企業（平成23年度実績）

- 内山工業株式会社
- カーツ株式会社
- キリンビール株式会社 岡山工場
- 株式会社クラレ 岡山事業所
- 山陽放送株式会社
- セイレイ工業株式会社
- 株式会社 中電工 岡山統括支社
- 株式会社 トンボ
- ナカシマメディカル株式会社
- カバヤ食品株式会社　　ほか

アドバイザー制度・学習等達成度記録簿

岡山大学工学部にはアドバイザー制度があります。アドバイザー教員はひとりひとりの学生に対し、科目履修の相談や私生活に関する相談を受け付ける身近な相談窓口として、学生のみなさんが充実した学生生活を送れるようにきめの細かいサポートをしています。

各学期の始めにはアドバイザー教員との面接があります。面接ではアドバイザー教員と一緒に、前の学期の学習の達成度を自己評価し、新学期に向けた新たな目標を学習等達成度記録簿に記録します。

このように岡山大学工学部では教員と学生が一対一で話し合うことで、効果的な学習ができるよう支援しています。

記入項目例

- 大学４年間における勉学目標
- 大学４年間における勉学以外の目標
- 資格等に関する目標
- 大学在学中における勉学目標の達成度
- 在学中を振り返っての感想

Formula Project

【学生の取り組み】岡山大学フォーミュラプロジェクト［OUFP］

岡山大学フォーミュラプロジェクトの活動は、2004年11月頃から始まり、2012年9月に参戦8回目の第10回大会を迎えています。全日本学生フォーミュラ大会とは、排気量610cc以下のエンジンを用いたフォーミュラカーを学生達自身で構想・設計・製作し、車体性能、設計・製作技術、プレゼンテーション能力などを競い合います。

学生自らがフォーミュラカーを構想・設計・製作するため、機械加工、溶接、コンピュータによる設計等が重要になることはもちろんのこと、組織作り、スケジュール管理、さらにはスポンサー集めなどの土台作りが重要になってきます。大学の講義で学んだことをより実践的なものつくりへと応用させていくことが必要になります。活動当初から工学部に支援してもらっており、活動場所の確保、施設の利用、運営の手伝いを主に支援してもらいながら、学生達独自で活動しています。

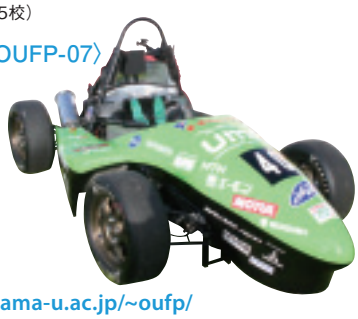
私達は、実践的ものつくり教育としてこのようなプロジェクトは非常に意義あるものと感じています。一つの車両を作り上げるまでの苦労、設計・製作の繰り返し、要望と製作能力のジレンマ、製作した車両の調整の重要性など、ものつくりの全てを体験することで、講義の重要性、知識の展開方法などを学んでいくことができます。また、チームワーク、リーダーシップ、マネジメント能力など、他では経験できない良い経験にもなっており、卒業生が自動車メーカ等に就職していることからもさらなる成果を期待しています。

全日本学生フォーミュラ大会出場歴

2005年	初参戦　全車検合格（33位／45校）
2006年度	初完走（18位／56校）（燃費4位）
2007年度	耐久走行中リタイア（28位／61校）
2008年度	全種目完走（19位／65校）
	省エネ賞第2位、日本自動車工業会会長賞5位
2009年度	耐久走行中リタイア（32位／66校）
2010年度	耐久走行中リタイア（42位／70校）
	デザインレビュー（7位／70校）
2011年度	耐久走行中リタイア（40位／75校）
	コスト審査（11位／75校）

フォーミュラマシン2011年〈OUFP-07〉

全長	2,700mm
全高	1,130mm
全幅	1,400mm
ホイールベース	1,600mm
車両重量	225kg



http://powerlab.mech.okayama-u.ac.jp/~oufp/

ロボット研究会

【学生の取り組み】ロボット研究会

工学部の学生は、大学で開講される講義や実験科目から学ぶだけでなく、ロボットコンテストなどの課外活動に参加し、実践的なものづくりを体験しています。ロボットコンテストに参加しているグループとしては、機械システム系学科の学生を中心としたロボット研究会があります。

ロボットコンテストでは、ロボットの設計、製作が重要となります。これらは、１年生から体系的に学ぶ知識をうまく組み合わせて行う必要があります。そのため、コンテストへの参加は、多くの講義、実験の関連を理解でき、学ぶ意欲にもつながっています。工学部では、ロボットコンテストに出場するロボットの製作など学生の課外活動を積極的に援助し、社会に出て活躍できる技術者の育成に取り組んでいます。

また、2009年にはNHK 朝の連続テレビ小説「ウェルかめ」で、主人公のボーイフレンドの工学部学生がつくったという設定のお掃除ロボットの製作依頼、2010年にはレスキューロボットコンテストのビデオ審査の内容が評価され、台湾に招待されロボットの実演も行いました。

http://okarobo.ninpou.jp/

ロボットコンテスト大会出場歴

NHK 大学ロボコン
　2004年、2008年、2009年出場
　2004年準優勝
レスキューロボットコンテスト
　第6回（2006年）～第10回（2010年）出場
　第8回ベストプレゼンテーション
つやまロボットコンテスト
　第9回（2003年）～第16回（2011年）出場
　第11回　優勝、デザイン賞
　第14回・第15回　デザイン賞
　第16回　優勝、３位
その他
　全国海岸清掃ロボットコンテスト
　ロボカップジャパンオープン
　全日本ロボット相撲
　知能ロボットコンテスト
　ジャパンマイコンラリー
　SICE Week（台湾）　　などに出場

コレが岡山大学工学部のスゴイ技術！

“小さな工夫”が世界を変える
岡山大学 工学部
2013

テラヘルツ光で照らす未来の世界

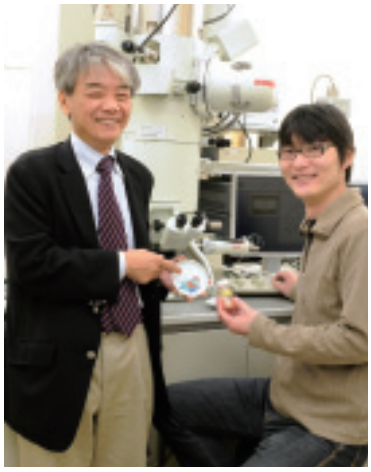
准教授　紀和　利彦 *Toshihiko Kiwa*
1976年生まれ。大阪大学大学院博士後期課程修了後、日本学術振興会特別研究員を経て、2004年より岡山大学工学部電気電子工学科講師、現在同自然研究科准教授。応用物理学会テラヘルツ電磁波技術研究会委員長。

私たちの研究室では、“テラヘルツ光”を用いていろいろな計測をする装置を研究・開発しています。“テラヘルツ光”は周波数で1兆ヘルツ付近の電磁波のことで、少し前までは、SFやスパイ映画のなかで、透視をするビームのような形で紹介されていました。今では実際にテラヘルツ光を出して、検出することができるようになり、社会で少しずつ使われるようになってきました。たとえば、服の中に隠した爆弾や麻薬を見つける装置、スペースシャトルの外壁を検査する装置などなど……

私たちが今開発しているのは、もっともっと小さなものを見る“テラヘルツ波ケミカル顕微鏡（TCM）”です。この装置は、私たちの独自の新技術で、国内外で特許出願をしています。名前は私が考えて、学会誌や専門書などで紹介されています。興味があればwebで検索してくださいね。この装置が実現すると、タンパク質の相互作用や化学反応を目で見えるようにすることができ、生命メカニズム解明の研究や高性能燃料電池の開発に大きく役立てると考えています。

“テラヘルツ光”はまだまだいっぱいの可能性を秘めていて、新しい発見を求めて学生の皆さんと一緒に、日々研究を行っています。

岡山の伝統工芸品「吹屋ベンガラ」の再現を目指して



教授　高田　潤 *Takada jun*
1947年生まれ。京都大学大学院修了後、1975年京都大学工学部助手。1986年岡山大学工学部助教授、1991年同工学部教授、現在、同自然科学研究科教授。

岡山県西北部の吹屋地区（現在の高梁市成羽町）では、江戸時代中期から磁器や漆器の高級顔料（絵具）となる赤色の酸化鉄ベンガラが盛んに作られていました、1960年代に公害のため製造中止になりましたが、その発色の美しさから現在でも著名な陶芸家の方々から「吹屋ベンガラ」の復元が強く求められています。

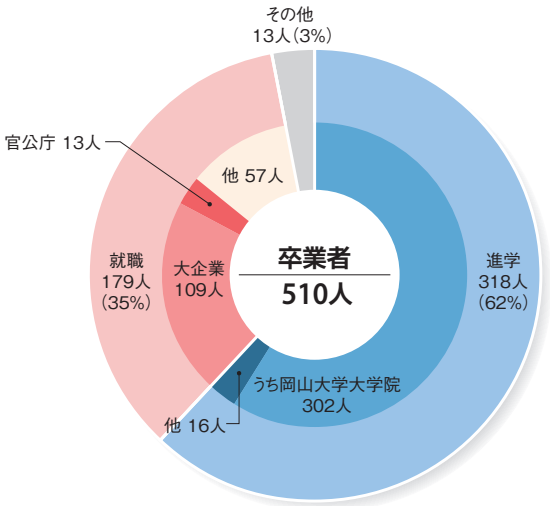
そこで、私たちは約15年前から、この吹屋ベンガラを現代科学によって再現する研究を始めました。先ず、現存する江戸時代後期の吹屋ベンガラの赤色の秘密を最先端の分析電子顕微鏡などを用いて調査した結果、微量のアルミニウムがベンガラをナノ粒子化することで鮮やかな赤色を発色することが解りました。

次に、安全な化学的合成方法を検討しました。鉄とアルミニウムを原子レベルで混合できる合成法を用いて、吹屋ベンガラの美しさに匹敵する赤色酸化鉄ナノ粒子が得られることを世界で初めて見出しました。その後、民間の化学会社で大量生産する技術が開発され、現在大手食器メーカーでこの新しいベンガラの使用が検討されています。間もなく、吹屋ベンガラを再現した新しいベンガラで色付けされた食器が皆さんの家の食卓にも並ぶでしょう。

進学・就職状況

平成23年度 進路状況

工学部では例年、卒業生の60%以上が大学院博士前期課程に進学しています。就職も順調で、不況にもかかわらず毎年多くの企業から求人が工学部に届いています。就職先は、学部卒業では約60%、大学院博士前期課程修了では約80%が、製造業を中心に大企業です。

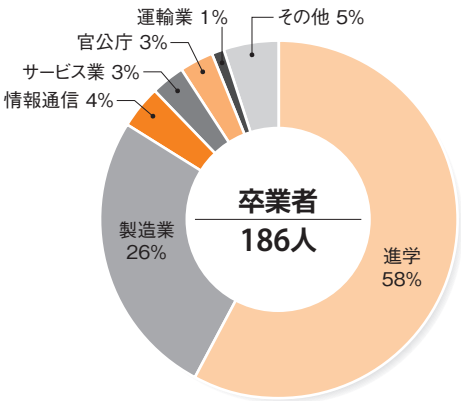


求人状況

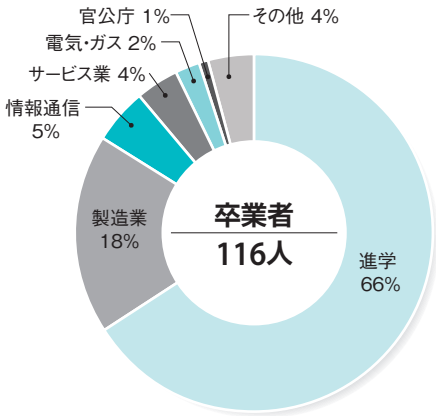
就職希望者数	190人
求人総数	3407人
求人倍率	17.9倍

平成23年度 学科別進路状況

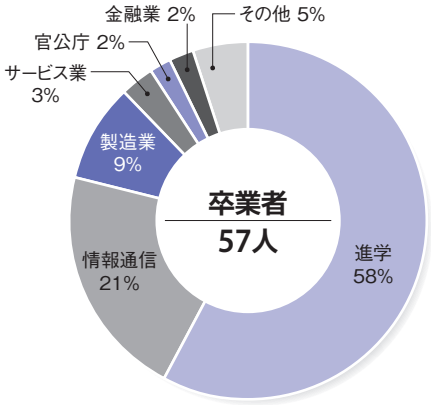
機械システム系学科 [旧機械工学科・旧システム工学科]



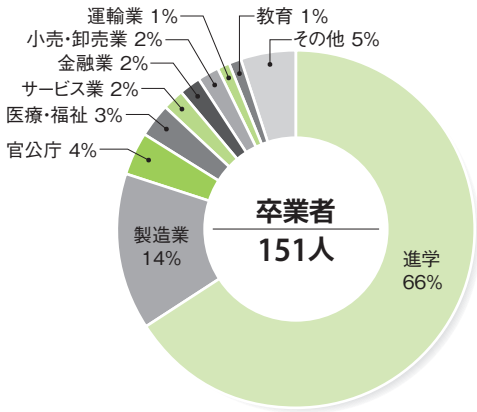
電気通信系学科 [旧電気電子工学科・旧通信ネットワーク工学科]



情報系学科 [情報工学科]



化学生命系学科 [旧物質応用化学科・旧生物機能工学科]



入試情報

平成24年度入試状況

学　科	入学定員	推薦入試（センター試験を課さない）			前期日程			後期日程		
		募集人員	志願者	合格者	募集人員	志願者	合格者	募集人員	志願者	合格者
機械システム系学科	160	48	63(5)	49(5)	92	251(4)	104(4)	20	87(2)	24
電気通信系学科	100	20	38	22	70	142(4)	77(4)	10	61(2)	11
情報系学科	60	10	24(4)	11(1)	42	95(7)	46(3)	8	38(4)	9(1)
化学生命系学科	140	27	71(37)	29(13)	90	270(74)	100(28)	23	118(33)	25(8)
計	460	105	196(46)	111(19)	294	758(89)	327(39)	61	304(41)	69(9)

（　）は女子で内数

平成25年度募集人員

学　科	入学定員	推薦入試（センター試験を課さない）	前期日程	後期日程	国際バカロレア	私費外国人留学生特別入試	帰国子女入試
機械システム系学科	160	48	92	20	若干名	若干名	若干名
電気通信系学科	100	20	70	10	若干名	若干名	若干名
情報系学科	60	10	42	8	若干名	若干名	若干名
化学生命系学科	140	27	90	23	若干名	若干名	若干名
計	460	105	294	61			

※化学生命系学科前期日程の募集人員には、マッチングプログラムコース全学一括募集1人を含みます。

前期日程志願者については、4学科のうちから第3志望まで認めます。
ただし、志望する学科の組合せによっては、個別学力検査の教科・科目の選択が制限されます。
詳細は、入学者選抜要項及び学生募集要項を確認してください。

平成25年度入試日程

平成24年6月5日（火）～6月12日（火）	第３年次編入学試験願書受付
6月26日（火）	第３年次編入学試験
11月6日（火）～8日（木）	推薦入試（センター試験を課さない）願書受付
12月1日（土）	推薦入試（センター試験を課さない）入学試験
平成25年1月19日（土）、20日（日）	大学入試センター試験
2月25日（月）	前期日程個別学力検査、帰国子女入試、私費外国人留学生特別入試入学試験
3月12日（火）	後期日程個別学力検査入学試験

※詳細は、入学者選抜要項及び学生募集要項を確認してください。

工学部案内、入学者選抜要項及び学生募集要項を請求する場合は、こちらから。

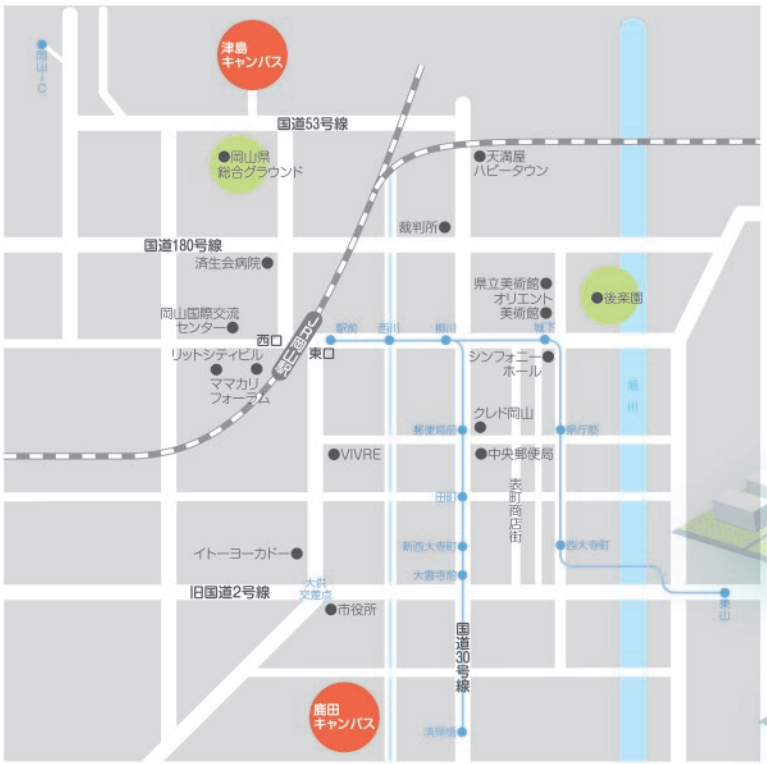
テレメール

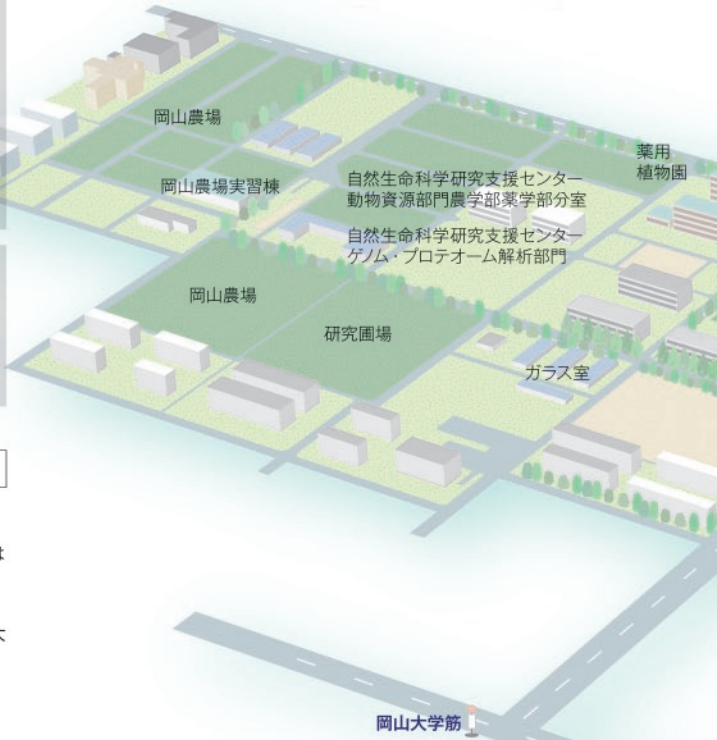
キャンパスマップ

学びが改善され、
便利で緑の多い大学キャンパス！

岡山市の市街地に位置する岡山大学は、JR主要駅に近く通学にも住むにも便利な場所にあります。JR岡山駅は、山陽新幹線や京阪神・山陰・四国方面への在来線がクロスし、各方面からのアクセスに便利です。津島キャンパスも鹿田キャンパスも岡山駅から自転車で15分程の距離。市内にはバスや路面電車が運行していますが、「晴れの国」と呼ばれる岡山では気候がよく、坂道も少ないため自転車が便利です。

岡山駅とその周辺には、衣料・雑貨・家電・飲食・大型書店などの商業施設が建ち並び、日本三名園のひとつである後楽園や、美術館・博物館・図書館等が集中するカルチャーゾーンも大学から気軽に行ける距離にあります。便利で楽しく充実した学生生活が送れる街です。





岡山大学津島キャンパスへの交通アクセス

岡山までJR利用 >>>

- 岡山駅前から岡電バス「岡山大学・妙善寺」行き乗車 >「岡大東門」、「岡大西門」または「福居入口」で下車
- 岡山駅前から岡電バス「津高営業所」行き乗車 >「岡山大学筋」で下車 >徒歩約7分
- 岡山駅西口から岡電バス「岡山大学・岡山理科大学」行き乗車 >「岡大入口」、「岡大西門」、「福居入口」または「岡大東門」で下車
- 岡山駅西口からタクシー乗車 >約7分
- 岡山駅からJR津山線「法界院」駅で下車 >徒歩約10分

岡山まで航空機利用 >>>

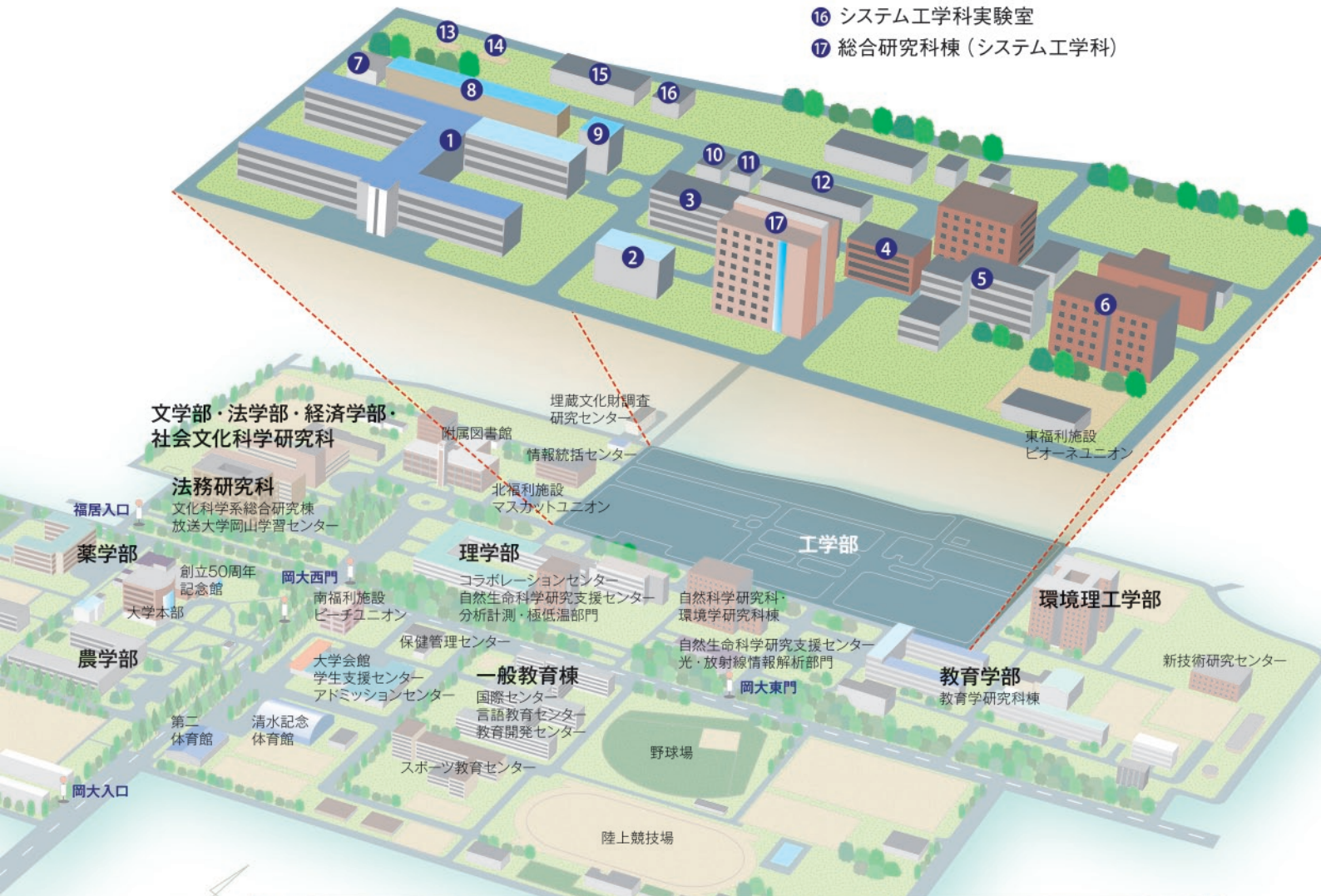
- 岡山空港から岡電バスまたは中鉄バス
  特急「岡山駅」行き乗車 >約22分　「岡山大学筋」で下車 >徒歩約7分

岡山まで山陽自動車道利用 >>>

- 岡山ICから岡山市内方面へ国道53号線を直進、右手に岡山県総合グラウンドの木々が見え始めたら約600m先に岡山大学筋があります。「岡山大学」標識を左折すれば正面に時計台が見え、岡山大学に到着します。

津島キャンパス案内図

1. 機械工学科・物質応用化学科及び事務部
2. 通信ネットワーク工学科
3. 電気電子工学科
4. 情報工学科
5. システム工学科・講義室
6. 生物機能工学科
7. 物質応用化学科実験室
8. 機械工学科実験室
9. 機械工学科実験室
10. 高圧電子顕微鏡室及び核磁気共鳴装置室
11. システム工学科実験室
12. 三次元場実験室
13. 高圧放電実験室
14. 内燃機関実験室
15. 創造工学センター
16. システム工学科実験室
17. 総合研究科棟（システム工学科）



見て！ 触れて！ 知る！

岡山大学工学部に“体験入学”

OPEN CAMPUS

/ Why? \ / Exciting! \

2012年 8月3日|金|・4日|土| 10:00～

岡山大学工学部では、オープンキャンパスを実施します。
この催しは、実際に工学部のキャンパスや研究室で、工学部の持つ雰囲気を肌で感じてもらいながら、模擬授業や模擬実験などを通して、岡山大学工学部への理解を深めていただこうというものです。
受験生の皆さんをはじめ、理系・文系の選択に迷ったり、理系の中でも工学部ってどんなところだろうと思っている高校2年生・1年生の皆さんもぜひご参加ください。

- **模擬授業・実験・実習**
  > 各学科に分かれて実際の授業を模擬体験できます。
- **研究室見学**
  > 岡山大学工学部にしかない研究室もたくさんあります。
  少しでも興味を持った研究室があればぜひ体験してみてください。

- 女子学生との交流会（ランチョンパーティ）
- 理系に興味のある女子生徒のための工学部案内

Let's TRY! /

詳細はこちらから

http://www.eng.okayama-u.ac.jp/prospective/kou_opencampus.html

“小さな工夫”が世界を変える

岡山大学 工学部

OKAYAMA UNIVERSITY FACULTY OF ENGINEERING

〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1-1
TEL 086-251-8018・8019・8020 FAX 086-251-8021
URL http://www.eng.okayama-u.ac.jp

テレメール